

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320236	X-21-B-2-320236	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
中国語 4bA(新カリ:2年次用)				尹 美蓮	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
			【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

中国語の基礎文法をすでに習得したことを前提とし、初級レベルで習得した学習ポイントをおさらいしながら、中級レベルの学習ポイントの習得を目指す。補語、副詞、介詞、接続詞などの学習・復習を通して、作文練習や会話練習をくり返し、適切な表現力を着実に身につけることを実現し、コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。中国語でのコミュニケーションから中国への興味や関心が深まることを期待する。

各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 導入：自己紹介 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 第1課 初対面(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 第1課 初対面(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 第2課 行きたいところ(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 第2課 行きたいところ(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 第3課 お久しぶりです(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 第3課 お久しぶりです(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 第4課 旅行(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 第4課 旅行(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 第5課 食べ物(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 第5課 食べ物(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 第6課 招待(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 第6課 招待(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 第7課 夢(一)：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 第7課 夢(二)：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。</p> <p><b>第16回</b> 【授】 期末試験 【前・後】 【復習2時間以上】主として教科書の内容から出題する。</p>
--	---

成績評価方法

【成績評価】 期末試験 30%、授業への取り組み(予習・復習状況、授業態度など) 40%、授業参加状況 30%を合わせて総合的に評価する。  
【フィードバックの方法】 試験後に模範解答を配布し、その場で答え合わせを行う。最終点数はポータルサイトにて、発表する。

教科書・参考書

『仲間です話そう中国語 初級から中級へ』徐送迎著/朝日出版社/2019年

受講に当たっての留意事項

必ず予習・復習をすること。不明点は随時積極的に質問をして解決すること。履修する学生の実際のレベルに合わせ、適宜授業の進み方や内容を変更する場合がある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

教科書の本文・例文を読む・訳すことだけでなく、中国語で内容を理解し、適切に把握する。課題(作文など)の発表やグループワーク(場面設定の会話練習など)を取り入れ、学んだポイントや表現をしっかりと身に付け、自分の考えを伝えることができる「使える」中国語を目指す。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320236	X-21-B-2-320236	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
<b>授業目的</b>							
この授業は中国語の人文・社会科学分野の文献、新聞記事やテレビニュースなどを理解することを主な内容とし、一層高いレベルの語学力を身に付けさせる。この中で、中国語の聴解力、会話力、読解力、作文力などの総合的運用能力を高め、中国語検定試験4～3級合格、HSK(漢語水平考試)3～5級合格を目指す。授業には、中国語と日本語の異同についての説明及び通訳・翻訳の訓練においても、日本語の使用を最小限にするが、単語、本文と文法の説明及び討論会、発表会と授業での指示を基本的に中国語で行う。映画による理解力向上の方法も導入する。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】 事前はなし。事後は、よく復習して聞く、話す、読む、書くなどの面で練習する。約2時間必要。				<b>第9回</b> 【授】 国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】 事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。			
<b>第2回</b> 【授】 社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】 事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第10回</b> 【授】 国際関係について中国語の討論会を行う。 【前・後】 事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。			
<b>第3回</b> 【授】 社会問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】 事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第11回</b> 【授】 国際関係の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】 事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。			
<b>第4回</b> 【授】 経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】 事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第12回</b> 【授】 社会・経済・国際の問題についての中国語発表会 【前・後】 事前は、各自の分担役について発表内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。			
<b>第5回</b> 【授】 経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】 事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第13回</b> 【授】 就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】 事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。			
<b>第6回</b> 【授】 経済問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】 事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第14回</b> 【授】 就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】 事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。			
<b>第7回</b> 【授】 経済分野の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】 事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第15回</b> 【授】 中国語検定試験あるいはHSKの指導と模擬試験を行う。 【前・後】 事前は、中検あるいはHSKの資料を収集する。事後は、各自の経験をよく総括する。約2時間必要。			
<b>第8回</b> 【授】 国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】 事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。				<b>第16回</b> 【授】 定期試験 【前・後】 事前は総合復習をする。約2時間必要。			
<b>成績評価方法</b>							
成績判定は、期末試験の点数(50%)、毎回の授業での作文・会話の状況(40%)、授業参加状況(10%)を合わせて総合的に評価する。期末試験或いは課題レポートの成果や問題点を総括して後に説明する。							
<b>教科書・参考書</b>							
中国の大学で使用される教科書、新聞記事などを導入する。各種の中国語辞書を活用する。							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
辞書を持参すること、予習・復習をすること。聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力する。日本語の使用を最小限にする。							
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×							○
<b>学習到達目標</b>							
新聞記事やテレビニュースなどを徐々に理解するようになり、それをめぐって意見交換をするように挑戦する。実践訓練の中で、中国語検定試験4～3級やHSK3～5級の合格を目指す。							
JABEE							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320236	X-21-B-2-320236	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
中国語 4bB (旧カリ：3年次用)	寺沢 一俊			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

高度な語学運用能力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあつてポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につける。  
 中国においては近年めざましい経済発展を遂げ、世界の国々に対して、さまざまな面で大きな影響力をもつようになった。このため中国語を使える人材にもより即応性のある正確なコミュニケーション能力が求められている。ここでは主として会話体の文を通して主観表現と客観表現の違い、その働きについて学ぶ。さらに現代中国に暮らす人々の日常生活や生活習慣などに触れながら中国への理解を深める。テキスト課文で学んだことがらについては暗誦・要約の発表、中国語による質疑応答などの練習もしたい。これにより中国語運用能力の向上を目指す。

各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 第一課：外国の祝日を祝う (1) 講義の進め方について説明した後、テキストの学習にはいる。 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 第一課：外国の祝日を祝う (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 第二課：ストレート (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 第二課：ストレート (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 第三課：軍事訓練 (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 第三課：軍事訓練 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 第四課：レストラン (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 第四課：レストラン (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 第五課：母と息子 (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 第五課：母と息子 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 第六課：病人の付き添い (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 第六課：病人の付き添い (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 第七課：ビザ (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 第七課：ビザ (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 第八課：労働条件 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】 予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、朗読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、暗誦すること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p><b>第16回</b> 【授】 定期試験 【前・後】 主としてテキスト課文と練習問題から出題する。</p>
--	---

成績評価方法

【成績評価】は出席率 (20%)、小テスト・課題への取り組み (20%)、定期試験 (60%) の結果を総合的に判断する。  
 【フィードバックの方法】課題・小テストはチェックをしてから返却し、必要に応じて解説をする。

教科書・参考書

教科書：杉野元子・黄漢青著「大学生のための現代中国語 12 話・4」白帝社  
 参考図書：講義中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

予習をする際には先ず CD 録音を聞いてから、課文を音読し、音読しながら意味をつかむこと。辞書をしらべても意味がはっきりしない時は、不明な部分を含む文を音読すること。それでもわからなければ、その前後文も音読すること。それでもわからなければ授業で解決する事。意味がわかったら音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できた内容についてはピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
○	公式通訳の経験を有する教員が中国語によるコミュニケーション能力獲得を主目的とした授業を行う。	○

学習到達目標

テキスト課文の暗誦にチャレンジし、各課のテーマについて口頭で質疑応答練習ができるようにしたい。さらにテキスト課文の要約を中国語で口頭説明できるようにしたい。説明できる内容についてはピンイン符号と漢字で書けるようにしたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習